

Continuous seminar

連続セミナー

## 5つの視点から瀬戸内を見る



瀬戸内には多くの人々が生活し、

海の恵みをうけて豊かな文化を築いてきました。

その文化を多角的に学ぶため、

異なる分野で活動する講師を招き、

それぞれの視点から瀬戸内について考える

5回連続セミナーを開催します。

Seto Inland Sea

Folk History

Museum

第1回 4/22(土) 10:00-11:30

## 「瀬戸内海の成り立ちと海底地質」

講師 はせがわ しゅういち 長谷川 修一 氏 (香川大学名誉教授)

瀬戸内海は約2万年前には陸上でしたが、海面上昇により現在のような海域となったと考えられます。複雑な海底地形や美しい沿岸風景の特質などについて、地質工学を専門とする視点からお話しただくとともに、展示室内の資料についても解説いただきます。



【講師略歴】 専門は地質工学。主な著書として、『中国四国地方の応用地質学』(日本応用地質学会中国四国支部、2010年)などがある。『讃岐ジオサイト探訪』(香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊、2013年)も執筆。ジオツアーリズムや讃岐と備讃瀬戸のユネスコ世界ジオパーク認定を目指して活動を続けるとともに、「プラタモリ」案内者としても知られる。

会場 瀬戸内海歴史民俗資料館 瀬戸内ギャラリー (第1展示室中2階)

定員 30名(先着順)

申込方法 電話または来館で要事前申込

\* 申込期間3/21(火・祝)から、定員になり次第終了

参加  
無料

## 【予告】

第2回 5/14(日) 「底引き網漁師に聞く」 西谷 明氏(瀬戸内漁業協同組合副組合長)

第3回 5/27(土) 「海の安全を守る」 高松海上保安部職員

第4回 6/11(日) 「海ごみ 県境を越えて」 山陽学園中学校・高等学校地歴部

第5回 6/24(土) 「瀬戸内をアーカイブする」 下道基行氏(瀬戸内「 」資料館館長)

村山 淳氏((一社)トピカ代表)

申込期間: ②3/21(火・祝)～、③④4/25(火)～、⑤5/23(日)～ 先着順

9:00-17:00

(入館は16:30まで)

月曜日休館

(月曜日が休日の場合は翌火曜日)

入館無料



## 瀬戸内海歴史民俗資料館

〒761-8001 高松市亀水町1412-2 (五色台山上)

TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekish/>

JR 高松駅から車で約25分・JR 坂出駅から車で約30分 ©徳島方面から…高松自動車道権紙ICより車で約30分 ©岡山方面から…瀬戸中央自動車坂出北ICより車で約30分 ©愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出ICより車で約35分 \*いずれも県道高松王越坂出線の大崎の鼻経由 ©駐車場:普通車30台、大型バス可

